

令和 7 年度 国本中学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す生徒像含む）

(1) 基本目標

人間尊重の精神を基盤に、やさしい心とたくましい気力・体力をもち、社会の発展に貢献できる人間を育成する。

(2) 具体目標（具体的な生徒像など）

- ① 健康で意志の強い生徒（健康教育の推進）
- ② 自ら学び創造力のある生徒（自己教育力の育成）
- ③ 心情豊かで思いやりのある生徒（心の教育の推進）
- ④ 勤労を愛し実践力のある生徒（文化や伝統の継承と勤労精神の涵養）

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

人権尊重の精神を基盤として、確かな学力、豊かな人間性、健康や体力など、変化の激しい社会を生きるために必要となる「生きる力」を確実に身に付けさせる指導に力を入れ、『生徒・職員が共に成長できる学校』を目指す。そのために、人間力の形成に向けて、全教育活動を通じて、「ほめて伸ばす指導（自己存在感・自己肯定感・自己有用感など自尊感情を育む指導）」の充実を図り、自信と誇りをもって生き生きと学校生活を送る生徒を育成していく。

また、こうした教育活動がより効果的に実践されるよう、学校における働き方改革を推進し、業務の効率化や労働時間の適正化を図る。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 「生徒が明るく、いきいきと活動する学校」づくりに努める。
- (2) 生徒理解に基づいた生徒指導の充実を努め、基本的な生活習慣と規範意識の育成を図る。
- (3) 学習において、基礎・基本の定着を図るとともに、生徒を認め生かす授業の工夫に努める。
「とちぎっ子学力アッププロジェクト」「道徳教育の充実」「主体的・対話的で深い学び」への授業改善に努める。
（「宇都宮モデル」の活用）
- (4) 教職員が課題を共有し、協働して教育活動に当たれる職場づくりに努める。
- (5) 学校、家庭、地域の連携を深め特色ある学校づくりを推進する。
- (6) 教職員一人一人の特性を生かした校務分掌を工夫することで、働き甲斐を大切にしながら、業務の効率化と働き改革を進める。

【国本地域学校園教育ビジョン】

「自ら学び 心豊かで 元気な国本っ子」～地域とともにある学校をめざして～

4 教育課程編成の方針

- (1) 日本国憲法、改正教育基本法、学校教育法及び新中学校学習指導要領の関係法令、及び県教育行政基本方針、市教育委員会管理運営規則、市学校教育スタンダードの示すところに従い、本校教育課程を編成する。
- (2) 学校経営方針のもと、教育課程のスリム化、重点化を図りつつ、教育目標の実現を図るために編成する。
- (3) 地域や学校の実態を考慮し、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」のバランスのとれた育成を通して「生きる力」の醸成を目指して、「特色ある学校づくり」の基盤となるように編成する。
- (4) 全教職員の参画と教師同士の連携・協力によって編成する。

5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

(1) 学校運営

◇教育目標の達成を目指すチーム学校づくり

- ・生徒や家庭、地域、関係機関等と学校教育目標や学校経営の理念を共有し、その達成に向かう集団づくりの推進に努める。
- ・情報発信を積極的に行い、地域とのかかわりを深める工夫をすることで、地域の中核として愛される、開かれた学校づくりの推進に努める。

(2) 学習指導

◇宇都宮モデルに基づく授業改善を通し、学びに向かう力の育成と学力の向上を目指す

- 学力向上プログラムを実施することで、基礎・基本の確実な定着を目指し、家庭学習の充実を図る。
- ・各種学習調査結果の分析をもとに、宇都宮モデルに基づく授業改善の推進を行う。

(3) 生徒指導

◇生徒一人一人の主体性を高める指導の充実を図る

- ・自分の力でやり遂げる体験や場の充実を図り、自己効力感を高める。(レジリエンスの育成)
- ・生徒のよさを認め、ほめて伸ばす指導を強化することで、生徒が自分のよさに気づき、自信を持つなど、自尊感情を高める。(レジリエンスの育成)
- ・生徒との適切な関わりにより信頼関係を構築し、状況に応じた声かけをすることで、活動の意欲を高め、粘り強く取り組ませる。

(4) 健康(体力・保健・食育・安全)

◇自ら健康・体力の向上に努め、心身ともに健康でたくましい生徒の育成を図る

- ・基礎体力の定着と個々の発達段階に応じた体力向上を図る。
- ・生徒の自主的な学習活動・啓発活動による食を含めた生活習慣の確立を図る。

6 自己評価 A1～A20は市共通評価指標 B1～は学校評価指標(小・中学校共通, 地域学校園共通を含む)

※「主な具体的な取組の方向性」には, A拡充 B継続 C縮小・廃止, を自己評価時に記入

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は, 文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画基本施策	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
1- (1) 確かな学力を育む教育の推進	<p>A1 生徒は, 他者と協力したり, 必要な情報を集めたりして考えるなど, 主体的に学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 ⇒教職員、生徒、保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①学力向上プログラムを実施</p> <p>②「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善(宇都宮モデルに基づく授業改善の推進)</p> <p>③朝の学習の実施で基礎・基本の定着を目指す</p> <p>④週末課題を通して家庭学習の習慣づけの推進(クロームブックの活用)</p>	B	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肯定的回答は、生徒 93.6%、教職員 96.0%、保護者 81.1%で、いずれも数値指標を達成している。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育目標、地域学校園学習指導部会で定めた活動方針を踏まえ、左記の取組を継続する。
1- (2) 豊かな心を育む教育の推進	<p>A2 生徒は, 思いやりの心をもっている。</p> <p>【数値指標】 ⇒教職員、生徒、保護者、地域住民の肯定的回答80%以上</p>	<p>①道徳教育・人権教育を基に、ふさわしい言葉使いやマナー、思いやりを持った行動について生徒たちが考える機会を多く持つ。</p> <p>②学校行事や各学年での体験活動、ボランティア活動等を通して望ましい人間関係の構築を図る。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肯定的回答は、生徒93.0%、教職員100.0%、保護者92.6%でいずれも数値指標を達成している。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳教育・人権教育を要に、学校行事や各種体験活動を継続して実施する。その際は、ふさわしい言葉使いやマナー、思いやりを持った行動の推進を学校全体で共有する。
	<p>A3 生徒は, 目標に向かってあきらめずに, 粘り強く取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 ⇒教職員、生徒、保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①生徒会を中心とした規範意識向上のための取組の充実</p> <p>②各学年による教材研究の実施や授業見学等を行い、道徳の授業の充実を図る。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肯定的回答は、生徒が 88.9%と昨年度と比較して5%上がった。教職員 100% 保護者 82.6%と数値指標を達成している。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒を主体とした生徒会活動を引き続き実践し、生徒の自己肯定感を高め、集団生活における望ましい行動が自発的に実践できる生徒の育成に努める。 ・同一教材による道徳の研究授業の実践や、道徳的な価値のある行事・特別活動等と連動した道徳教育の実践の継続を図る。

1- (3) 健康で安全な生活を実現する力を育む教育の推進	A 4 生徒は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 ⇒教職員、生徒、保護者、地域住民の肯定的回答 80%以上	①適切な健康診断の実施と事後指導の徹底 ②基本的な生活習慣や感染症予防の保健教育の推進 ③交通安全教室や避難訓練を通した安全指導の充実	【達成状況】 ・肯定的回答は、教職員が 84.0%と昨年度より 8%下がったものの、生徒 89.8%、保護者 88.8%で数値指標を達成している。 【次年度の方針】 ・健康診断や事後措置の実施から健康管理の大切さに気づき、必要な治療は早期に対応できるよう努める。 ・感染症対策の強化を行い、生徒が心身共に健康で学校生活を送ることができるよう努める。 ・安全な登下校や災害時の対処の仕方について指導する。特に、自転車の安全な乗り方の指導強化を図る。
1- (4) 将来への希望と協働する力を育む教育の推進	A 5 生徒は、自分のよさや成長を実感し、協力して生活をよりよくしようとしている。 【数値指標】 ⇒教職員、生徒の肯定的回答 80%以上	①学習や生活において、計画的・継続的に取り組む習慣の定着を図る ②学習や部活動において、困難なことにも根気強く取り組もうとする態度を育む ③将来への希望を実現すべく計画的・継続的に努力しようとする態度を育成する	【達成状況】 ・肯定的回答は、教職員が 100%、生徒 90.4%で全て数値指標を達成している。 【次年度の方針】 ・入試制度の変革に伴い、教職員による計画的な学習指導を実施する必要がある。また各生徒が将来への希望を具体的に思い描き、その実現に近づくために、計画的に学習・生活習慣の定着と継続ができるような支援を今後も継続する。
2- (1) グローバル社会に主体的に向き合い、郷土愛を醸成する教育の推進	A 6 生徒は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 ⇒教職員、生徒の肯定的回答 80%以上	①英語の授業における会話活動の充実に向けた、英語科教員間での指導法・教材等の共有の推進 ②ALT の積極的活用し、生徒との対話活動を増やしていく。	【達成状況】 ・肯定的回答は、職員は 96.0%、生徒は 64.4%で、前年度と比較し、職員は 4%向上したが、生徒の数値が下がった。 【次年度の方針】 ・数値が年々下降していることを踏まえ、次年度も言語活動の充実を校内英語科の重点目標とし、改善をしながら指導法・教材等について共有の推進を図る。
	A 7 児童生徒は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 ⇒教職員、生徒、保護者、の肯定的回答 80%以上	①社会科や総合的な学習の時間（宇都宮学）における郷土学習の充実 ②宇都宮にまつわる資料を用いた道徳における郷土愛の涵養 ③冒険活動教室、社会体験学習、茶摘み体験などの活動を通して郷土を知り、伝統を継承しようとする態度の育成	【達成状況】 ・生徒の肯定的回答は約 2%の向上、教職員の肯定的回答は 8%の向上、保護者についても約 7%の向上となった。 【次年度の方針】 ・指導内容の拡充を図り、総合的な学習の宇都宮学や各学年の体験活動をとおして、郷土に関する指導の充実を努める。
2- (2) 情報社会と科学技術の進展に対応した教育の推進	A 8 生徒は、デジタル機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】 ⇒教職員、生徒、保護者の肯定的回答 80%以上	①ICT 機器や図書館を活用した授業の展開促進 ②図書選定委員会を中心とした、計画的な図書の補充	【達成状況】 ・生徒の肯定的回答は 76.9%、教職員の肯定的回答は 96.0%、保護者の肯定的回答は 78.4%、生徒と保護者の数値指標が達成できなかった。 【次年度の方針】 ・生徒と保護者の肯定的回答は向上したがまだ数値指標に達成しないので、ICT 機器使用の推進を引き続き継続する。
2- (3) 持続可能な社会の実現に向けた担い手を育む教育の推進	A 9 生徒は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】 ⇒教職員、生徒の肯定的回答 70%以上	①環境に対して教科横断的な視点を教師が持ち、国本地区を題材とした話題を授業の中に盛り入れるなど、生徒の環境教育への関心を高める工夫を行う。 ②SDG's 啓発活動の推進のために生徒会を中心とした定期的な呼びかけの実施	【達成状況】 ・生徒の達成状況は、78.6%で約 8%の向上、教職員については 64.0%で約 12%の減少と、生徒と教員間の差異が見られた。 【次年度の方針】 ・生徒と教員が同一歩調で取り組み、実践できるような教材の研究推進を図る。

<p>3- (1) インクルーシブ教育システムの充実に向けた特別支援教育の推進</p>	<p>A10 教職員は、特別な支援を必要とする生徒の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①特別支援教育の推進 ・生活や学習に困難さを抱える生徒の実態把握 ②校内支援委員会や職員研修の充実 ③教育相談部会の活性化</p>	<p>【達成状況】 ・教職員 100% 肯定的回答は 100%で、数値指数を達成している。 【次年度の方針】 ・次年度も、今年度同様、特別支援教育の実態を把握し、充実を推進する。</p>
<p>3- (2) いじめ・不登校対策の充実</p>	<p>A11 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 ⇒教職員、生徒、保護者、地域住民の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①アンケートによる実態把握 ②教育相談の充実 ③生活委員によるいじめ撲滅集会の実施と啓発リボンの制作</p>	<p>【達成状況】 ・肯定的回答は、生徒 98%、教職員 100%で、いずれも数値指標を達成している。ただし、保護者は 78%で、数値指標を達成できなかった。 【次年度の方針】 ・教職員一人一人が、自らの言動について見直す機会をつくり、共通理解のもと信頼を高められるように改善を図る。</p>
	<p>A12 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 ⇒教職員、生徒、保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①自己存在感や自己有用感が感じられる学級経営の工夫 ②特別活動や教育相談等による温かい学級集団づくりや生徒理解 ③SC、MS、小学校、外部機関との連携</p>	<p>【達成状況】 ・肯定的回答は、生徒 98%、教職員 100%、保護者 87.4%で、いずれも数値指標を達成している。 【次年度の方針】 ・保護者との連携を一層深め、学級経営の取組を丁寧に発信し、安心感の向上に努める。</p>
<p>3- (3) 外国人児童生徒等への適応支援の充実</p>	<p>A13 学校は、一人一人が大切にされ、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。 【数値指標】 ⇒教職員、生徒、保護者、地域住民の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①学校行事や体験活動の充実 ②諸検査を基にした事例研究 ③スタンダードダイアリーを活用した生徒理解と支援の充実</p>	<p>【達成状況】 ・肯定的回答は、生徒 97.1%、教職員 100%、保護者 87.2%で、いずれも数値指標を達成している。 【次年度の方針】 ・一人一人を大切にしている取組を継続し、学校全体で明るく活気ある雰囲気の更なる充実を図る。</p>
<p>3- (4) 多様な教育的ニーズへの対応の強化</p>			
<p>4- (1) 教職員の資質・能力の向上</p>	<p>A14 教職員は、分かる授業や生徒にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 ⇒教職員、生徒、保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①学力向上プログラムの実践 ②教師同士の授業公開による校内研修の充実 ③宇都宮モデルに基づく授業改善の推進（めあての提示と学習の振り返りの実践） ④英語、数学におけるT・Tの充実</p>	<p>【達成状況】 ・肯定的回答は、生徒 97.1%、教職員 100%、保護者 81.2%で、いずれも数値指標を達成している。 【次年度の方針】 ・次年度も左記の取組を継続し、各学力調査の結果を基に、適宜軌道修正を図る。</p>
<p>4- (2) チーム力の向上</p>	<p>A15 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 ⇒教職員の肯定回答 80%以上</p>	<p>①職員へのアンケート調査を基にした校務分掌の見直しと改善 ②校務に関わる組織体制の整備と強化 ③個々の教員の専門性や能力を生かすための対応</p>	<p>【達成状況】 ・職員の肯定的回答は、100%で、市の平均 93.2%を上回っている。昨年の教職員の解答より上回った。 【次年度の方針】 ・情報共有や職員間の連携をさらに深め、気配りを忘れないよう努める。 ・職員個々の専門性・能力を生かす校務分掌への配置に努め、仕事量過多の偏りが起こらないよう配慮する。</p>

<p>4- (3) 学校における働き方改革の推進</p>	<p>A16 勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 ⇒教職員の肯定回答 80%以上</p>	<p>①業務内容の見直しと改善 ②出退勤時間の管理と指導・助言 ③デジタル機器の活用 ④リフレッシュデー設定による定時退勤の推奨 ⑤部活動活動時間の短縮化</p>	<p>【達成状況】 ・職員の肯定的回答は、92%昨年から4%下がりましたが、市平均82%を上回っている。数値目標は、達成している。 【次年度の方針】 ・ミライムを活用して、業務のスマート化をさらに進める。 ・リフレッシュデーの認識を深める。</p>
<p>5- (1) 全市的な学校運営・教育活動の充実</p>	<p>A17 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 ⇒教職員、生徒、保護者、地域住民の肯定的回答80%以上</p>	<p>①小中一貫教育全体計画の見直し ②乗り入れ授業 ③合同あいさつ運動 ④小6の進学先訪問 ⑤小中一貫各部会</p>	<p>【達成状況】 ・肯定的回答、生徒 82.2% 保護者 86.8% 教員 96% 地域 100%数値指標はすべて達成している。 【次年度の方針】 ・小中一貫教育の地域学校園内の連携をさらに深める。</p>
<p>5- (2) 主体性と独自性を生かした学校経営の推進 5- (3) 地域と連携・協働した学校づくりの推進</p>	<p>A18 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。 【数値指標】 ⇒教職員、生徒、保護者、地域住民の肯定的回答80%以上</p>	<p>①メール配信・HP活用等による積極的な情報発信による家庭との連携強化 ②地域学校園との情報交換や活動内容の連携と実践</p>	<p>【達成状況】 肯定的回答は生徒 83.3%、教職員 96.0%、保護者 91.1%で、いずれも数値指標を達成している。 【次年度の方針】 ・次年度も左記の取組を継続し、教育活動や学校運営のさらなる拡充を図る。</p>
<p>6- (1) 安全で快適な学校施設整備の推進</p>	<p>A19 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 ⇒教職員、保護者、地域住民の肯定的回答80%以上</p>	<p>①毎月の安全点検 ②点検後の対策、修繕、報告の充実 ③美化委員による教室環境整備の推進</p>	<p>【達成状況】 ・肯定的回答は、教職員 100%、保護者 94.9%、地域住民 100%で、いずれも数値指標を達成している。 【次年度の方針】 ・より安全な教育環境を確保するため、様々な視点からの安全点検を行うなどリスクマネジメントの強化を図る。</p>
<p>6- (2) 学校のデジタル化推進</p>	<p>A20 コンピュータなどのデジタル機器やネットワークの点から、授業（授業準備も含む）を行うための準備ができています。 【数値指標】 ⇒教職員の肯定的回答80%以上</p>	<p>①ICT 機器や図書館を積極的に活用した授業の展開促進 ②効果的な活用法に関する職員研修の充実</p>	<p>【達成状況】 ・肯定的回答は、教職員 92.0%で数値指標を達成している。 【次年度の方針】 ・左記の取組を継続し、ICT 機器を活用した授業の充実を図る。</p>
<p>小・中学校、地域学校共通、本校の特色・課題等</p>	<p>B1 生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 ⇒教職員、生徒、保護者、地域住民の肯定的回答80%以上</p>	<p>①学校や地域学校園の「あいさつ運動」の推進 ②授業や部活動等、学校教育全般を通じた気持ちのよいあいさつの励行</p>	<p>【達成状況】 ・肯定的回答は、生徒 98.5%、教職員 100%、保護者 91.4%で、いずれも数値指標を達成している。 【次年度の方針】 ・あいさつの高評価を維持し、家庭と連携してさらに確実に定着させる取組を進める。</p>
	<p>B2 生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 ⇒教職員、生徒、保護者、地域住民の肯定的回答80%以上</p>	<p>①生徒会を中心とした規範意識向上のための取組の充実 ②道徳の授業の充実</p>	<p>【達成状況】 ・肯定的回答は、生徒 97.7%、教職員 92.0%、保護者 91.3%、地域住民 66.7%で、地域住民のみ数値指標を達成していない。 【次年度の方針】 ・一人一人が国本中学校を代表するという意識を持たせて、マナーアップにつなげられるよう努める。</p>

	<p>B 3 学校行事やボランティア活動等を通して、地域の人や保護者と生徒が交流する機会がある。</p> <p>【数値指標】 ⇒教職員、生徒、保護者、地域住民の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①地域協議会との交流（茶摘み製茶等） ②地域未来会議の実施 ③親子奉仕作業の実施 ④K L Cの活動 ⑤くにもと祭りへの参加 ⑥学校HPやPTA広報部による各行事についての情報発信</p>	<p>【達成状況】 ・肯定的回答は、生徒 59.9%、教職員 100%、保護者 75.5%、地域住民 83.3%で、教職員、地域住民は数値指標に達成している。</p> <p>【次年度の方針】 ・メール配信・HP等を用いて、地域の方や保護者への情報発信を密に行いながら、生徒との交流する機会への情報共有に努める。</p>
	<p>B 4 生徒は、家庭学習に進んで取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 ⇒教職員、生徒、保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①各教科の授業の振り返りにて、家庭学習のポイントを教授 ②週末課題と自主学習ノートの設定 ③保護者への周知・啓発</p>	<p>【達成状況】 ・肯定的回答は、生徒 86.5%、教職員 80.0%、保護者 72.0%で、いずれも前年度を上回った。数値指標に対しては保護者のみ 8.0 ポイント及ばなかった。</p> <p>【次年度の方針】 ・各学力調査のアンケート結果から、ここ数年の生徒の取組状況は改善傾向にあるため、次年度も左記の取組を継続する。</p>
	<p>B 5 児童（生徒）は、自分の体力向上を意識して生活している。</p> <p>【数値指標】 ⇒教職員、生徒、保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①体育授業時での運動時間の確保および体を動かすことの楽しさや大切さを中心にそえた授業づくり ②委員会からの呼びかけなども用いた、昼休み時の外遊びの推奨</p>	<p>【達成状況】 ・肯定的解答は、生徒 76.9%、教職員 96%、保護者 69.8%と、いずれも前年度を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・運動時間を確保でき、運動の楽しさ大切さが学べる授業を作り、熱中症予防など安全対策を定期的に呼びかけながら昼休み時の外遊びを引き続き推奨していく。</p>

【総合的な評価】

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

◇全体的には市の平均を上回る傾向にあるが、次の3点が課題として挙げられる。

- ・ A 4 「児童生徒は健康や安全に気を付けて生活している。」では、市の肯定的な意見の割合が生徒 91.0%、職員 89.6%、保護者 88.9%であるのに対し、本校は生徒 90.4%、職員 84.0%、保護者 88.4%と全てにおいて下回る結果となっている。
- ・ A 6 「児童生徒は英語を使ってコミュニケーションしている。」では、本校生徒の肯定的な意見の割合は 64.3%と、昨年よりも 6 パーセント減少している。また、市の肯定的な意見の割合の 74.8%と比べても 10%ほど下回っている。
- ・ 地域住民アンケート結果からは B 2 「児童生徒は、きまりやマナーを守って、生活している。」において、市の肯定的な意見の割合は 92.6%であるのに対し、本校は 66.7%とかなり低い。

以上3点について原因を分析し、改善するための手立てを具体的に立て、実践していく必要がある。

◇成果として、顕著なものは3点挙げられる。

- ・ A 7 「児童生徒は、宇都宮の良さを知っている」では昨年と比べて、生徒 1.3%増、教職員 8.0%増、保護者 6.8%増とすべての対象で上回っている。
- ・ A 1 3 「学校は一人一人が大切にされ、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である」で、生徒 0.8%増、保護者 0.7%増（教職員と地域住民は昨年同様 100%）と、こちらも昨年と比べて上回っている。
- ・ B 1 「児童生徒は、時と場に応じた挨拶をしている」で、生徒 2.2%増、保護者 8.8%増、地域住民 10%増（教職員昨年同様 100%）と、こちらも昨年と比べて上回っている。

以上3点については今年度の取組を継続していく。

7 学校関係者評価

- ・ 生徒の安全意識、マナーといった点で、生徒達の朝の登校時の様子、登校時の問題点、地域としての改善策について意見をいただいた。
- ・ A11 のいじめに関するアンケート結果では、肯定的意見が生徒 98.0%に対し、保護者は 78.0%にとどまった。両者の間に大きな意識の差が見られることから、保護者と学校との情報の共有方法について提案をいただいた。
- ・ 子供たちは安心して学校に登校しており、また、教員が熱心に子供たちと関わる姿も多く見られ、とてもありがたいという意見をいただいた。

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・ A 4「児童生徒は健康や安全に気を付けて生活している。」の項目については、安全な登下校のため、地理的な危険を察知・回避する意識を高める指導とともに、自転車の安全な乗り方に関する指導を強化していく。
- ・ A 6「児童生徒は英語を使ってコミュニケーションしている。」については、その原因を精査するとともに、授業だけでなく日常の学校生活の中で英語に触れ合う機会を更に増やしていくなど、ALTの有効的な活用等を通して改善を図る。
- ・ B 2「児童生徒は、きまりやマナーを守って、生活している。」においては、引き続き、原因を解明していくとともに、地域の方への挨拶の推進や、登下校での交通マナーの遵守などを呼びかけ、さらなる改善に努める。